

## 寄稿者紹介

- |       |   |
|-------|---|
| 武井美砂  | 京都芸術大学通信教育部講師                               |
| 片倉直子  | 京都芸術大学通信教育部講師(京都造形芸術大学通信教育部大学院修士課程二〇一八年度修了) |
| 高橋知可  | 京都芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻博士課程在学中                   |
| 竹浪彩矢子 | 京都造形芸術大学通信教育部芸術学コース二〇一八年度卒業(棟方志功記念館学芸員)     |
| 須田雅子  | 京都造形芸術大学通信教育部芸術学コース二〇一六年度卒業                 |

あとがき

芸術学・文化遺産領域 金子 典正

『芸術学研究』は、京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)通信教育部の芸術学研究室が刊行する学術雑誌として二〇〇六年度の創刊号より二〇一八年度6号まで、芸術学コースの優れた卒業成果物(卒業論文)をもとにした論文を掲載してきました。一方、通信教育部大学院の優れた修士論文を発表する場が従来なかったことと、二〇二三年度に通信教育部大学院の芸術学・文化遺産領域が主催する京都芸術学会が立ち上がったため、この7号から京都芸術学会の学会誌として再スタートすることとなりました。本誌には本学講師の武井美砂氏の論文、片倉直子氏の論文、通学部大学院博士課程在学中の高橋知可氏の論文、棟方志功記念館学芸員(芸術学コース卒業)の竹浪彩矢子氏の論文、芸術学コース卒業の須田雅子氏の卒業論文をもとにした論文が収録されています。今後も、本学教員や在学生の論文のみならず、優れた修士論文や優れた卒業論文の発表の場として刊行を続けて参ります。いたらない点などままあると存じますので、ひろくご批判ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。